

月刊 アートコレクターズ

Art Collectors'

9
2026

猫

は最高傑作である

インタビュー

沖 昌之／チン・ペイイ／白亜器／町田尚子

対談

石田淳一×伊勢田理沙

寄稿

赤川 学／諏訪 敦／真辺将之



浦田杏梨 作品展
それぞれのありよう

価格は
要問合せ

9月5日(土)~9月20日(日)

蠟を用いて、浮遊する「気配」を包むように象ったり、古物などに纏わせたりして制作される浦田杏梨の作品。目の前にある「それぞれのありよう」に向き合える。

侶居 TEL.059 (340) 9172
四日市市朝日町1-13



「固まる呼吸」2026年
きんぴら マイクロW.A. バッティン
H 22 X W 22 X D 22 cm

江頭 誠 個展

「花の殻」—Floral Shell—

価格は
要問合せ

9月5日(土)~9月19日(土)

生活に根づく「花柄の毛布」を用いて、家具や車などのオブジェクトを覆う作品を制作する江頭誠。外界と内面を繋ぐ「殻」について思考を展開する。

梅軒画廊 TEL.075 (221) 3510
京都市中京区烏丸通四条上ル笋町682



「月人形」ミラストメディア
H 75 X W 55 X D 40 cm

髑髏の中の髑髏 2026 展

9月4日(金)~9月12日(土)

掲載作品
13.2 万円

ファッションの文脈でも愛される一方、死生観を象徴する題材としても重要な髑髏をテーマとした同画廊恒例の企画が今年も開催。出品作家は、たま、珠かな子、てふてふ、なちよ、萩野はる、悠歌、冥彦、萌木ひろみ、もんちほし。

乙画廊 TEL.06 (6311) 3322
大阪市北区西天満2-8-1 大江ビルディング101



たま (Tama) 2026年
透明水彩、紙 35 X 3 X 27 cm

「うすきはだに朱」式沢 初個展

9月18日(金)~9月26日(土)

掲載作品
20.9 万円

石粉粘土製の球体関節人形や透明水彩イラストを制作する式沢。人形を作る過程で生まれる物語やキャラクター性が育つ様を見守り活かすことを大切にしているという。過去作に加え、身支度を題材にした新作を展覧する。

乙画廊 TEL.06 (6311) 3322
大阪市北区西天満2-8-1 大江ビルディング101



「じょうずな磨き」球体関節人形
石粉粘土、ガラス、ステン、胡粉、エッジ、
バスル、毛糸、付属品、歯ブラシ
(手持ち) H 35 X W 25 X D 10 cm

没後10年 ポール・アイズビリ 展

—愛と幸せの画業をたどる—

価格は
要問合せ

9月26日(土)~10月18日(日)

日本においても各地で展覧会が開かれ、人気を集めていた故ポール・アイズビリ。没後10年を機に、初期から最晩年までの作品約30点が展覧される。

ギャラリーためなが大阪 TEL.06 (6949) 3434
大阪市中央区城見1-4-1 ホテルニューオータニ大阪1F



「ヨットの見える家」1980年代
200 X 250 cm

『昇華—芸術家・玉本奈々の半生』出版

記念 色への執着

価格は
要問合せ

8月29日(土)~9月6日(日)

2025年9月刊行の自伝『昇華—芸術家・玉本奈々の半生』の出版記念個展。さまざまな素材によって豊かな色調やその転調を表現した作品を展示する。

アートデアート・ビュー TEL.072 (685) 0466
高槻市北園町13-30



句・夏石番矢 画・玉本奈々
空飛ぶ法王160俳句「うぶすな忘れ
折り忘れて空飛ぶ法王」10号F

犬飼将隆 個展

「Astra—願いが実る夜—」

9月19日(土)~10月3日(土)

Gallery MIRAI blanc
ギャラリー ミライブラン

TEL.03(6699)0719
大田区大森北1-33-12 ダイアハイツイサウス大森103

「The Star Harvest」2026年 透明水彩、木炭、インク、鉛筆、雁皮紙 M30号

SHO SAKUMA Special Exhibition

9月8日(火)~9月13日(日)

価格は
要問合せ

自然や生命の神秘に圧倒され、そこに恐れや憧れを抱いて以来、この世の固定観念を逸脱した「聖なる生命」を外の世界に探し求め、立体作品の創作を続けてきた佐久間聖。今展では新作含む8作品が展示される。

東京浅草画廊 Gei 藝 TEL.03 (3844) 5620
台東区浅草1-24-3



「Faceless Face」石粉粘土、樹脂

石原 実 個展 「遊月記」

9月4日(金)~9月13日(日)

価格は
要問合せ

布や紙、革など様々な素材に染色を施し実用からアートまで幅広く作品を展開する石原実。今展では、月の光に導かれるように染めた新作を中心に秋の気配漂う設えを演出する。

Gallery MIRAI blanc TEL.03 (6699) 0719
大田区大森北1-33-12 ダイアハイツイサウス大森103



「月に遊ぶ」2026年 革、染色
(サイアノタイプ技法) 24 X 17 cm

犬飼将隆 個展 「Astra—願いが実る夜—」

9月19日(土)~10月3日(土)

価格は
要問合せ

装飾模様と人物像を重ねた画風で人気の犬飼将隆。「星に願いを託す」……古代から続く人々の営みに想を馳せ、自らの心に眠る神話を描く。その神話を通して目に見えない「願い」や「希望」の姿を表現する。

Gallery MIRAI blanc TEL.03(6699) 0719
大田区大森北1-33-12 ダイアハイツイサウス大森103



「The Star Harvest」2026年 透明水彩、木炭、インク、鉛筆、雁皮紙 30号M

日月美輪 日本画展

9月1日(火)~9月7日(月)

掲載作品
39.6 万円

同画廊で毎年恒例となっている日本画家・日月美輪の個展。今回は新作18点程を展示する。魅惑的な空気に包まれた作品は、鑑賞者を釘付けにするだろう。

ギャラリー HANA下北沢 TEL.03 (6380) 5687
世田谷区北沢3-26-2



「花の麗花」15号P

「たゆたう」藤田 和(漆)・中村

真弥子(絵画) 2人展

価格は
要問合せ

9月10日(木)~9月20日(日)

ガラスに漆を施した作品を制作する藤田和と、画家の中村真弥子による2人展。「たゆたう」をテーマに、異なる表現の作品が響き合う展示となるだろう。

Art + Craft Gallery 蚕室 TEL.03 (5303) 9882
杉並区西荻北4-35-5



上・藤田和「たゆたう」26 X 32
26年 ガラス、漆、金粉、銀粉、金
箔、アワビ貝、26 X 19 X 10 X H
下・中村真弥子「空と水
とその間」2026年 油彩、玉虫
箱、パネル 60 X 12 X 02 X 5 cm

平埜佐絵子「あわいをするす」

9月5日(土)~9月26日(土)

価格は
要問合せ

二つのものが交わり重なる「あわい」をテーマにした個展。植物における今を生きつつ死に向うさまなど、絵画の中では相反する両方を存在させることができるという作家。100号2点を含む油彩約30点を展示。

Gallery 怪SATORU TEL.0422 (41) 0435
武蔵野市御殿山1-2-6 VIEWCANYON吉祥寺御殿山B102



「あわい」2026年 油彩、キャンバス
60.6 X 91.0 cm

宮下圭介 展「面位」

9月12日(土)~9月27日(日)

価格は
要問合せ

「視線を引きつける半透明な多層空間の『面位』において、視線が留まらず揺れ動くことで、制作を持続させることができる」と語る宮下圭介。25~10号の作品と小品、計20点程を展示予定。

ぎやらりー由芽 TEL.0422 (47) 5241
三鷹市下連雀4-15-2 ホワイトマンション101



「面位」アクリル、紙 26 X 26 cm

—9.11から四半世紀—

石川九楊 展 人類の未熟について

掲載作品
550 万円

9月11日(金)~10月3日(土)

日本を代表する書家・石川九楊の個展。9.11をテーマとする記念碑的な作品8点を中心に12点を展示。初日に名古屋美術館2階講堂で講演会あり。

名古屋画廊 TEL.052 (211) 1982
名古屋市中区栄1-12-10



「二〇〇九年九月十日 晴 垂直線と水平線の物語 I (上)」2002年 墨、和紙